

100年後も賑わい続ける“世界の道頓堀”へ 「道頓堀ナイトカルチャー創造協議会」を設立

商店会・観光局・民間企業が連携し
「道頓堀ナイトパーク」化に向けた実証実験を開始

道頓堀商店会（会長：上山 勝也）、株式会社JTB（代表取締役 社長執行役員：高橋 広行）および公益財団法人大阪観光局（理事長：溝畑 宏）が発起人となり、大阪最大級の観光集客拠点である道頓堀を“世界に誇る観光地”へ発展させることを目的に、「道頓堀ナイトカルチャー創造協議会」が発足します。同協議会は、道頓堀商店会、JTB、大阪観光局および他民間企業8社により本日11月12日（火）に設立され、2025年大阪・関西万博を見据えて今後更に増加する観光客の受け入れ体制を充実させ、「夜・食・エンターテインメント」などの切り口で、道頓堀から関西エリアの更なる地域活性化を図ってまいります。

道頓堀商店会は、2015年に道頓堀川開削400年を迎えたことをきっかけに、100年後も賑わい続けるためのまちづくりプラン「道頓堀500^{ごまるまる}」を制定し、芝居街として栄えた芸能と食文化の復興や、国内外問わず愛され続ける品格のあるまちづくりに取り組んでまいりました。同商店会とJTBは2017年10月に「エリアマネジメント連携協定」を締結し、2018年6月にはカフェ併設のインフォメーションセンター「TONBORI BASE Cafe& Info」と劇場「道頓堀 ZAZA」で構成される食とエンターテインメントの情報発信・交流拠点「道頓堀スクエア」を開設するなど、観光視点で街全体の価値向上をめざす取り組みを行っています。



「道頓堀ナイトパーク」イメージ

「道頓堀ナイトカルチャー創造協議会」は、両者のこれまでの取り組みを発展させ、大阪観光局や他民間企業8社と新たに連携し、官・民・地域が一体となり、「夜・食・エンターテインメント」を切り口に最先端テクノロジーを活用したスマートツーリズムエリアをめざす「道頓堀ナイトパーク」化に向けた実証実験を始めます。具体的には、①飲食店の空席情報やナイトカルチャー・イベント情報の発信、キャッシュレス環境の整備など観光インフラの整備②道頓堀らしい突起看板をいかした次世代型観光コンテンツ開発により、観光客が道頓堀をより便利に楽しく回遊し、消費を拡大することにつながります。また、今後は道頓堀から大阪・関西の魅力を発信し観光客の交流拠点をめざします。

◆組織概要

1. 名称：道頓堀ナイトカルチャー創造協議会
2. 設立日：2019年11月12日（火）
3. 体制：会長 道頓堀商店会 会長 上山 勝也
副会長 株式会社JTB 執行役員 関西広域代表 宇田川 雄彦
理事 以下の参加団体・企業の会員より構成
4. 参加団体・企業（順不同）

社名	主な機能
道頓堀商店会	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の策定/他商店街等の地域連携 商店会加盟店舗との連絡窓口（調整担当）
株式会社JTB	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の全体推進/協議会の事務局運営 TONBORI BASE Cafe& Info の企画運営
公益財団法人大阪観光局	<ul style="list-style-type: none"> 観光データ提供/公共機関等との連携窓口 ナイトカルチャー情報発信（Osaka Night Out 等）
株式会社NTTドコモ	<ul style="list-style-type: none"> ポイント・キャッシュレス環境の整備/決済データ活用 デジタルサイネージを活用した回遊性向上の支援
株式会社ジオ・アカマツ	<ul style="list-style-type: none"> なんばエリア活性化支援 なんばエリアの運営物件での協力
株式会社TryHard Japan	<ul style="list-style-type: none"> ナイトコンテンツ開発、イベント企画・運営 プロデュース店舗を通じた各種支援
南海電気鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> とんぼりリバーウォーク賑わい創出事業 なんば-夢洲間の相互送客促進
西日本電信電話株式会社 （以下、NTT西日本）	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験におけるNTT西日本グループの全体マネジメント 多言語コンタクトセンターによる観光サポート （株式会社エヌ・ティ・ティ マーケティングアクト提供予定） 大阪観光局と連携した観光データ分析 （エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社提供予定）
パナソニック株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 新規観光サービスの検討・提供
株式会社バイタルアートボックス	<ul style="list-style-type: none"> ナイトコンテンツ開発、イベント企画・運営 道頓堀 ZAZA の企画運営
富士通株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 新規観光サービスの検討・提供

“道頓堀ナイトパーク”

食とエンターテインメントのテーマパーク「夜の道頓堀」の創造



夜観光開発/食観光開発
画像提供：大阪観光局

◆活動内容

観光視点で道頓堀の価値向上をめざすエリアマネジメントを実施。「道頓堀ナイトパーク」として「夜・食・エンターテインメント」を軸に魅力を創出し、スマートツーリズムエリアに進化させる実証実験と事業化に取り組む。関西エリアにおける観光活性・先進観光体験のモデルケースになることをめざす。

1. ICT（情報通信技術）によるストレスフリー対策
2. 魅力あるコンテンツ開発
3. 安全・便利な情報提供
4. 人と情報の交流拠点整備

◆今後の計画（現在検討中の実証実験）

■「道頓堀ナイトパーク」化に向けた実証実験において2019年度から開始する取り組み

1. 道頓堀をよりわかりやすく

・大型デジタルサイネージ「TONBORI案内板」の設置による観光情報や空席情報の発信

NTTドコモが開発した「おしゃべり案内板[®]」の仕組みを活用した「TONBORI案内板」を中座くいだおれビル内「TONBORI BASE Cafe&Info」入口に大型デジタルサイネージとして設置し、観光局が保有する観光情報や各店舗のリアルタイムでの空席情報、道案内などを発信する。

*「おしゃべり案内板」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。



「TONBORI案内板」(イメージ)

・「多言語コンタクトセンター」の活用による旅行者の回遊サポート

NTT西日本グループが提供する「多言語コンタクトセンター」を活用し、「TONBORI案内板」と連携のうえ、旅行者の回遊をサポートする。



「多言語コンタクトセンター」(イメージ)

2. 道頓堀をより便利に、楽しく

・道頓堀アプリ「TONBORIアプリ」の開発

参加団体・企業の協力により「TONBORIアプリ」を開発し、各店舗情報の他に予約・決済・クーポン発行など旅行者へのシームレスな環境を作り、来店機会を創出する。

・次世代観光スポットの開発による回遊促進

道頓堀の特徴である突起看板を最新のAR技術を活用し、「TONBORIアプリ」内のコンテンツ「スマホで飛び出すAR看板」として開発し、道頓堀内およびミナミ全体への回遊性の促進を図る。



「スマホで飛び出すAR看板」(イメージ)

・NTTドコモによるポイント・キャッシュレス環境の構築

ポイント利用環境およびキャッシュレス環境の構築と、回遊性向上にむけたポイント進呈施策を実施する。

◆報道関係の皆様からのお問い合わせ先

道頓堀商店会 TEL:06-6211-4542
JTB 広報室 TEL:06-6260-5108
大阪観光局 マーケティング事業部 TEL:06-6282-5910

◆道頓堀ナイトカルチャー創造協議会へのお問い合わせ先

JTBコミュニケーションデザイン内事務局 TEL:06-4964-8839

◆実証実験に関わるお問い合わせ先

NTTドコモ 関西支社 広報室 TEL:06-6457-8140 (片岡・森田・泉)
NTT西日本 関西事業本部 ビジネス営業部 TEL:06-6606-9704